

みずほCustomer Desk Report 2016/08/08号(As of 2016/08/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	101.26 AUD/USD
TKY 9:00AM	101.21	1.1135	112.70	0.9742	1.3127	0.7640
SYD-NY High	102.07	1.1162	113.09	0.9830	1.3175	0.7665
SYD-NY Low	100.87	1.1046	112.32	0.9728	1.3021	0.7598
NY 5:00 PM	101.82	1.1090	112.85	0.9810	1.3069	0.7615
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.62/10.045		△25RR	1.458	Yen Call Over	
NY DOW	18,543.53	191.48	債券市場			
NASDAQ	5,221.12	54.87	日本2年債	-0.1870	▲1.6bp	
S&P	2,182.87	18.62	日本10年債	-0.0930	▲1.5bp	
日経平均	16,254.45	▲0.44	米国2年債	0.7221	7.9bp	
TOPIX	1,279.90	▲3.09	米国5年債	1.1363	10.8bp	
シカゴ日経先物	16,440	195.00	米国10年債	1.5885	8.8bp	
ロンドンFT	6,793.47	53.31	独10年債	-0.0670	2.8bp	
DAX	10,367.21	139.35	英10年債	0.6720	2.9bp	
ハンセン指数	22,146.09	313.86	豪10年債	1.8700	▲7.5bp	
上海総合	2,976.70	▲5.73	為替市況	USD/CNH	6.6660	0.0195
USDJPY 3M Vol	11.56	▲0.87%	商品市況	ドルインデックス	96.19	0.44
USDJPY 6M Vol	11.34	▲0.55%	CRB指数	181.799	0.45	
EURJPY 3M Vol	11.74	▲0.63%	NY金	1,344.400	▲23.00	
EURJPY 6M Vol	11.73	▲0.33%	WTI	41.800	▲0.13	
			Dubai Spot	40.62	1.19	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月5日	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	6月 -0.4%/-3.1%	0.5%/-1.5%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$44.5B	-\$43.0B
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 255K	180K
	21:30	米 失業率	7月 4.9%	4.8%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.3%/2.6%	0.2%/2.6%
	21:30	加 雇用ネット変化/失業率	7月 -31.2K/6.9%	10.0K/6.9%

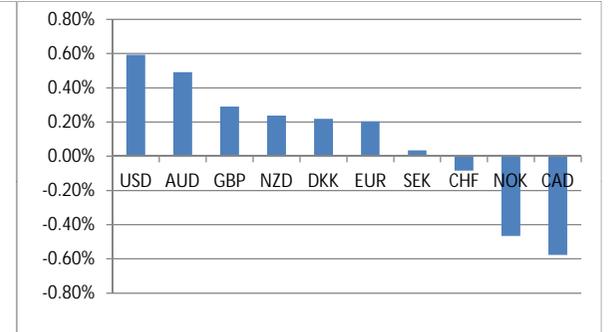
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月8日	08:50	日 経常収支/貿易収支	6月 ¥1,103.5B/¥773.3B	¥1,809.1B/¥39.9B
		中 貿易収支	7月 \$47.30B	\$48.11B
	15:00	独 鉱工業生産(季調済、前月比/前年比)	6月 0.7%/0.5%	-1.3%/-0.4%
	23:00	米 労働市場情勢指数	7月 -	-1.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京 東京時間のドル円は101.21レベルでオープン。直後に高値101.36まで上昇したものの、海外時間に米7月雇用統計の発表を控えて様子見ムードが広がる中、更なる上値を追う展開とはならなかった。その後、麻生財務大臣が閣議後の会見で「日銀との関係を緊密にしつつ、あらゆる政策を総動員する」「経済成長による財政健全化を目指す」と発言したものの、為替相場への影響は限定的。午後に入っても動意の乏しい地合いが継続。ドル円は101円台前半でレンジ推移した後、結局101.05レベルで海外に渡った。(東京 15:30)

ロンドン 本日ロンドン市場ドル円は横ばい、101.05レベルでオープン。序盤、ポジション調整とみられる動きがあり100.87まで値を下げるも下落は長続きせず、徐々に101円前半まで値を戻す。その後は米7月雇用統計の発表を控えて方向感に欠き、小幅なレンジ推移。結局101.04レベルにてNYへ渡った。ユーロドルも横ばい、1.1142レベルでオープン。独6月製造業受注の結果が前月比-0.4%と予想(+0.5%)を下回ったもののマーケットの反応は限定的。米7月雇用統計を控えて1.111台半ばでレンジ推移し、結局1.1155レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは上昇した。1.3133レベルにてオープン。英中銀カーニー総裁が「今は金融危機後でもユーロ危機の最中でも無い。金融セクターは機能している」との発言が伝わったことからポンドが買われ、1.3175まで上昇。結局1.3168レベルにてNYへ渡った。(ロンドン・フリー 丸野00531 444 179)

ニューヨーク 本日のドル円相場は101.04レベルでオープン。注目の米7月雇用統計で非農業部門雇用者数が25.5万人増と予想(18.0万人増)を上回ったほか、前月値も上方修正されたことから米利上げ観測が強まり、ドル買いが優勢となった。さらに、米景気の先行きに安心感が広がる中、ダウが大幅高となったことでドル円は一時102.07まで上昇。午後に入り、市場は利上げ期待を高めているものの、9月利上げまで見込む向きは少なく、ドル買いは一服。ドル円は伸び悩む動きとなり101.82レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1155レベルでNYオープン。米7月雇用統計が予想を上回ったことで、ドル買いが強まり、ユーロドルは一時1.1046まで下落。発表前の水準から100ポイント以上下落した。その後、ユーロドルは1.1105まで買い戻しが入るが上値は重く、1.1090レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・坂本

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	101.80-102.50	1.1050-1.1100	112.80-113.50

【マーケット・インプレッション】

前週末の海外市場のドル円相場は良好な指標の結果を受けて上昇した。この日発表された7月米雇用統計が市場予想を上回る結果となったことから、同国の年内追加利上げの可能性が改めて意識されドル買いが優勢となり、一時102.07円まで上昇した。ただ、そのレベルでは利食い売りから上値を押さえられ小幅反落。101.82円で越過となった。本日は底堅い展開を予想。7月米雇用統計の良好な結果を受けて、地合いは一旦好転している。株価上昇も期待され、ドル円相場のサポート材料となろう。102円を挟んでの推移を予想。